

1、題材名 しあわせを乗せるタクシー会社（あさ出版）

2、題材の目標

働くことの意義について理解を深め、働く価値を見出し自分自身の職業観を育てる。【道徳的心情】
班で意見を交流させながら、仕事をすることで得られる重要な要素を見つけ、それぞれの仕事に対する価値を探ることができる。【道徳的実践意欲と態度】

3、指導観

○題材について

本内容は、指導区分C「主として集団や社会との関わりに関すること」の（13）『勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。』にあてはまるものであり、生徒が働くことに対して、自分自身の価値観を大切にしたい上で学級のさまざまな意見を通して勤労の意義を考えさせる内容である。

本資料「しあわせを乗せるタクシー会社」は、《日本でいちばん大切にしたい会社3》に載っている話の1つである。

長野オリンピック特需に沸く県内において中央タクシーも数か月もの借り切りの予約が入ってきた。社長の宇都宮さんは、社員は喜んでいるだろうとある運転手に聞いたところ「いつもご利用されている方はどうされるのか。」と答えた。この答えに宇都宮さんはここまで「お客様第一主義」が浸透していたことに衝撃を受けた。

本資料を通して、勤労の意味・すばらしさを感じる心を育てたい。

○生徒について

本学級の生徒は、周りにごみが落ちていたり拾い、困っている人を見かけると声をかけることができ、周囲に気を配ることのできる生徒が多く、授業や学校生活全般を落ち着いた態度で臨んでいる。

今自分にできるものやことはないか考えて行動できているものの、自分の将来像というのがはっきりしていない者も多い。

AIの普及により10年後には、今ある職業の50%がなくなるかもしれないと言われる中、これから正しい職業観について学ぶことが大切であると考えられる。

○指導について

日本の中学、高校、大学の卒業3年後の離職率がそれぞれ62%、39%、32%となっており、ニートが71万人、フリーターが155万人というのが現状である。（2019年厚労省）

働くということはお金を稼ぐためだと思いがちであるが、生きがいや自己実現につながっている。また、社会への貢献でもあり仕事は必ず社会そして誰かの役にたっている。

そこで本題材を通して、働くことのすばらしさを感じ、地域・社会、相手を大切にしたい心情を育てたい。

4、題材の評価基準

一概に評価基準は設けないが、以下の表現を教師側の評価とする。

【道徳的心情】宇都宮さんが優先した地域への気持ちを考え班で意見を交流する。

- 地域の為に役立つことで得られる喜びが、お金を得ることよりも大切だから。
- 地域の人困らないようにすることが、自分の役目だから。

【道徳的実践意欲と態度】おばあちゃんからの手紙を読んで地域の人の思いから仕事の価値を考える。

- 地域の人を大切にしてきたのは間違いではなかった。

5、ESD との関連

(1) この題材で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

- ・ 公平性・・・高齢者にとって地域のタクシー会社は大切な交通手段であり、一時期でも特需によりタクシーが使えないと大きな負担となること
- ・ 連携性・・・タクシー会社にとって売り上げは給料やガソリン代になるのでとても大切であるが、お客様に選ばれるような会社が今後存続していくこと
- ・ 責任性・・・働くことは最終的に誰かの役に立つことであり、相手を思いやる気持ちを持つことがもっとも大切であること

(2) この学習を通して育てたい ESD の資質・能力

- ・ つながり尊重する態度
働くことで人との関係ができ、より豊かな生活が送れることを考える。
- ・ 未来像を予測して計画を立てる力
オリンピック特需を狙い一時期だけの経済効果をもたらすことが良いのか、地域のお客様を大切に長く利用してもらおう方が良いのかを考える。

(3) この学習で変容を促したい ESD の価値観

- ・ 世代間の公正
高齢者にとって地域密着の会社や店は大切な存在である。
- ・ 幸福感を大切にする
目の前の大金を得ることが「本当の豊かさ」ではない。

(4) 達成が期待される SDG s

- 3 保健
- 8 経済成長と雇用

6、展開の概要

段階	教師の発問と予想される子どもの考え	教師の支援	形態	配時
気づく	1. 働くことに対する価値を紹介する。 お金、やりがい・いきがい、誰かのため、の割合を円グラフで表す。		一斉	5
	働くことで大切な思いは何なのかを考えよう。			

	<p>2. 「しあわせを乗せるタクシー会社」を読んで、本時のねらいを追及する。</p> <p>(1) タクシー会社にとって大切なものについて考える。</p>	<p>仕事で一番大切にしているものについてタクシー会社を例に注目させる。</p>	個人 ↓ 班	15
<p>【中心発問】あなたは「オリンピック特需」と「地域のお客様」のどちらが大事ですか？</p>				
探る	<p>(2) (宇都宮さんが「オリンピック特需」より「地域のいつものお客様」を)優先したのはどんな気持ちか考える。</p> <p>○宇都宮さんのすばらしいところはどこですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック特需より地域のお客さんを優先したことがすごい。 ・困っている人を助けるのが自分の役目。 	<p>働く価値について考えさせる。</p> <p>稼ぎどきに目をつむりいつものお客様を優先した社長の心情にせまる。</p>	個人	15
深める	<p>3. 働く意義について考える。</p> <p>(1) おばあちゃんの手紙から考える。</p> <p>○おばあちゃんの手紙から宇都宮さんはどんなことを学びましたか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に信頼される会社、お客様第一主義を目指してきたことは間違いではなかった。 	<p>おばあちゃんの手紙を読んで地域の人からの信頼をあらためて確認させる。</p>		15
	<p>働くことで大切な思いは、仕事は社会を支え、世の中に貢献し人を幸せにすること。</p> <p>(2) 働くことは人を幸せにすることができる。ことを知る。</p> <p>(3) 教師の話聞く。</p> <p>(4) 振り返りを書く。</p>			

○この授業を深め広げるために（教科、地域との関わり）

教科	内容
特活	アンケート【1時間】
総合	職場体験【6時間】
道徳	本時【1時間】
総合	キャリア教育「先輩に学ぶ」【1時間】